

## その9 北海道有数の 米どころ美瑛町で 子供たちと一緒に 稲刈り体験! (北海道)

近年、めざましと人気上昇中の北海道米。ゆめぴりかをはじめ、なんと3つの品種で「特A」をゲットしているのだ。今回はそんな北海道米の産地である美瑛町にお邪魔して、村井一家と稲刈り体験してきた!



## ご当地のマドンナが案内する最旬の外遊びガイド 日本全県アウトドア巡り

北海道の農作物としてまっさきに思い浮かぶのは? ジャガイモやトウモロコシにアスパラガス……このあたりだと思おう。しかし、最近では北海道の「お米」が注目を集めているのだ。マッコ・デラックスが登場したTVCMで一気に知名度が上がった「ゆめぴりか」や「ななつぼし」のほかにも、多数の品種のお米が栽培されている。今回はそんな北海道の中でも、特に米どころとして有名な美瑛

町を訪問。ここで米農家を営む村井さんファミリーの田んぼにお邪魔して、ミス北海道米の岡田紫央里さんと一緒に、稲刈り体験をするのだ。村井さんのお宅に到着すると、ふたりの息子、瑛仁くん、恵伍くんが迎えにくれた。ふたりとも揃いのツナギを着て、稲刈りの準備は万端だ。さっそく田んぼにお邪魔してみると、見事に頭を垂れ、黄金色に輝く稲穂が広がっている。

頭を垂れた  
美味しそうな  
北海道米!



村井さんの田んぼで育てられているのは、「ゆめぴりか」「ななつぼし」「きさらぎ397」の3種類。今回収穫するのは、もっとも有名な「ゆめぴりか」。大雪山系十勝岳の銘水によって育まれた美味しいお米だ。



### 今月の マドンナ&案内人

ミス北海道米  
岡田紫央里さん(左)

日本全国で北海道米の良さを伝えるPR活動が主なお仕事。実家が半農家だったこともあって、お米に関する知識も豊富。好きな食べ物はもちろぬお米。とくに「ふっくりんこ」が好き。

村井瑛仁くん(右)  
恵伍くん(中央)

瑛仁くんは現在5歳で、弟の恵伍くんは2歳。いがり頭がよく似合う、元気いっぱいの子供たちだ。稲刈りは今回が初挑戦だが、よくコンバインには乗せてもらっているらしい。

北海道の美味しいお米を食べて育った子供たちは元気いっぱい。今年もたくさんのお米を収穫することができた。毎年、まっさきに新米を食べられるなんて、うらやましすぎる環境。しかも自分の手で刈ったお米の味は格別なはず！



## 今年も豊作！ 時代を想う北海道米キッズ



鎌を使って稲刈りをするのは、いまではイベントのときか、機械が入れないような狭い場所のみ。普段はコンバインを使って収穫している。写真右下はお米を乾燥させる装置。働く大型機械は子供たちにも大人気。



普段はコンバインで収穫。  
働く父ちゃん格好良し！

## 美瑛町はカレーうどんで町おこし！



美瑛産の豚を使用したトンテキもご当地グルメとして人気急上昇中。約75度Cで下処理されたお肉は驚くほど柔らかい！北海道米との相性も抜群で、ぐいぐいご飯が進む。

ファミリーレストランだいまる  
◎北海道上川郡美瑛町中町1-7-21  
☎0166(92)3114



美瑛町では、多様なスタイルのカレーうどんを提供する店が多くある。いずれも美瑛産食材にこだわったもの。今回食したのは、カレー煮込みうどん。最後は雑炊にさせていただく。

KOERU  
◎北海道上川郡美瑛町大町1-1-7  
☎0166(92)5531 (冬期限定メニュー11~3月)



## 驚くほど青いその池は その名もズバリ青い池

見る角度や四季によって様々な表情を見せる「青い池」は、観光名所としていつも賑わっている。青い池付近には、白樺の森や、白ひげの滝など見所もたくさん。散策するのが楽しい場所だ。



美瑛までのアクセスは、旭川空港から国道237号を通って、車で約12分。電車の場合は、JR富良野線・旭川駅から約32分。札幌駅からは約2時間。青い池までは美瑛駅から約30分。

の宝庫なんです。子供にとつては最高の遊び場ですよ」と、村井さんがニコニコしながらその様子を眺めている。

田んぼも、立派な外遊びのフィールドなんだと、子供たちの遊ぶ姿を見て、改めて思い出したのだ。

軍手を装着し、鎌を手にしていざ稲刈り開始。

5歳の瑛仁くんはもちろん、まだ2歳の恵伍くんも、思い切りよく稲を刈っていく。「いつも手伝ってるの？」と聞くと「初めてだよ」という答え。「でもまあいつもこの田んぼで遊んでるからね」と、大人びた顔で瑛仁くんが答えてくれる。「思ったより、サクサクッと刈れちゃうんですね」と、紫央里さんも楽しそうだ。

「あつ、カエル！」と、瑛仁くんが鎌を放り出して、カエル獲りに夢中になる。恵伍くんも、いつの間にか近くの上を掘り返して、ミミズを探すのに必死だ。「春先にはザリガニなんかも居るし、田んぼは生き物の宝庫なんです。子供にとつては最高の遊び場ですよ」と、村井さんがニコニコしながらその様子を眺めている。

# 農作業の合間に**畦道**でランチを楽しむ!



畦道で美味しそうにご飯を食べる農家の方々の姿——。そのご飯がなんだかとても美味しそうに思えたのはなぜだろう。というワケで、今回の取材で実際にやってみた。稲刈りという適度な運動によって空腹感が刺激され、さらには清々しい風が吹く田園という絶好のロケーション。これは旨いはずだと納得。キッズたちもモリモリご飯を頬張ってました! さて、食事の後はもうひと仕事。頑張った分だけ、ご飯が美味しく感じられるから、農作業にも精が出るってもんです。

青い池周辺の散歩では、バックパックに入れたマイボトルで水分補給。わずか210gと超軽量のタイプだから、持ち運びもまったく苦にならないのだ。もちろん保温性も抜群。真空断熱ケータイマグ/JNL-502 500ml 6000円

## トレッキングには 超軽量のケータイマグ



## こまめな水分補給には 2WAYボトルが便利

農作業は思った以上にハードなお仕事。夏場でなくても、知らず知らずのうちに汗をかいているので、こまめな水分補給は必須になる。そんなときに温冷対応の2WAYボトルが大活躍する。真空断熱2ウェイボトル/FFR-804WF 800ml 各5500円。